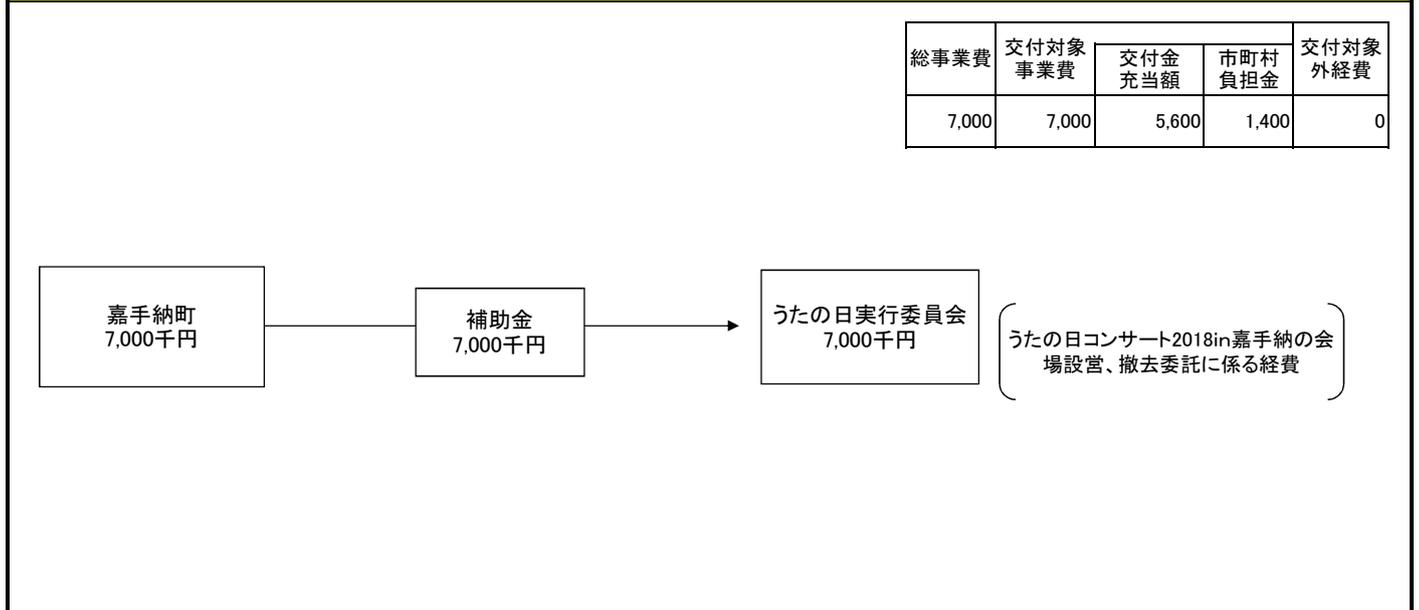


市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	うたの日コンサート事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部署名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光誘客を図るため、音楽イベント「うたの日コンサート」の開催に係る経費の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,000	8,000	8,000	8,000	7,000
		(b) 予算現額	8,000	8,000	8,000	7,000	7,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 1,000	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		8,000	8,000	8,000	7,000	7,000
	B. 執行済額		8,000	8,000	8,000	7,000	7,000
	うち交付金充当額		6,400	6,400	6,400	5,600	5,600
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		コンサート会場の設営費及び撤去費の一部を補助して事業計画どおりに予算を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	実行委員会への補助金交付	目標	(うたの日コンサートの開催支援)	(うたの日実行委員会への補助)	(うたの日実行委員会への補助)	(補助金交付)	
		実績	うたの日コンサートの開催を支援した。	うたの日実行委員会への補助をした	うたの日実行委員会への補助をした	補助金を交付した	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	会場設営等に係る経費を補助対象としており、今年度も目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	来場者数	目標	()	(5,000人)	(6,000人)	(8,260人)	()
		実績		6,000人	7,000人	7,000人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・来場者数は前年度同数の7,000人を集客することができたが、目標の8,260人を達成することができなかった。 ・うたの日コンサート当日には、会場で本町が特産品として推奨する5作品の販売、本町のガイドブックの配布及び観光情報動画の放映を行い、本町の観光資源のPRを行った。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・うたの日コンサートの内容に関する情報発信が例年よりも1か月ほど遅かったこと、また、新たな広告宣伝として町内の事業所へうたの日コンサートのポスター掲示依頼を行ったが、うたの日実行委員会から分配されたポスターが少なく、十分に周知できなかったことが、集客が伸びなかった原因と考える。 ・うたの日コンサートの誘致が本町内への観光へつながったことを確認するため、コンサート来場者にアンケート調査を行った。町外からの来場者329人から回答を得た結果、初めて嘉手納町を訪れた人の割合は約31%であり、コンサートへ来場するついでに嘉手納町を観光した、または観光する予定と答えた。 ・うたの日コンサートオフィシャルサイトで嘉手納町の観光情報へのバナーを掲載し、来場予定者が事前に本町の観光情報を入手できる環境を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客につながる情報発信は早めに行うこと、また、ポスター等広告宣伝に利用できるものは十分な数を分配してもらえるよう、うたの日実行委員会と調整を行う。 ・アンケート調査の結果、うたの日コンサートの開催は、本町への観光誘客に一定程度の効果があることが確認できた。一部無効な回答もあったが、継続的にアンケートを行うことで、本町の観光情報発信を効果的に検証していくことが可能と考える。 ・バナーの掲載場所が目立たなかったため、オフィシャルサイトから観光情報へのアクセス数は限られていたものと思われる。

今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・うたの日実行委員会に、2か月前には集客につながる情報発信を行うよう要請するとともに、必要枚数のポスターを確保し事業所へ掲示依頼を行うことで、来場者の増加を目指す。 ・引き続き、うたの日コンサートの誘致が本町内への観光へつながったことを検証するため、設問内容及び回答する際の選択肢などをわかりやすい表現に改善しながらアンケート調査を行い、分析していく。 ・うたの日実行委員会とバナーの掲載方法を調整し、引き続き、うたの日コンサートオフィシャルサイトで来場予定者に向けて本町の観光資源をPRする。 	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、過去の事業実績等を勘案し、決定したため妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業内容、事業開催条件、事業規模を確認し、補助金を支出しており適正だと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であると判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)に向けた実施設計を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	8,370	22,032	2,764	79,201	23,200
		(b) 予算現額	149,517	22,032	2,689	49,954	23,492
		(c) 増減額(b-a)	141,147	0	▲ 75	▲ 29,247	292
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		149,517	22,032	2,689	49,954	23,492
	B. 執行済額		149,138	22,032	2,689	49,689	23,476
	うち交付金充当額		119,310	17,625	2,151	39,751	18,780
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		99.7%	100.0%	100.0%	99.5%	99.9%
予算の状況の説明		当初予定通り期間内に完了した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	実施設計の策定	目標	(実施設計の策定)	(実施設計の策定)	()	()	
		実績	実施設計(その1)の完了	実施設計(その2)の完了			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明		・広場の拡張及び情報コーナー、団体待合所、飲食物販施設増築等の実施設計(その②)を完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)
	実施設計(その2)の完了	目標	()	(実施設計の策定)	(実施設計(その2)の完了)	()	()
		実績		実施設計(その1)の完了	実施設計(その2)の完了		
	【R4成果目標】施設の来訪者数 77.9万人以上/年		目標	()	()	()	()
進捗状況説明		・広場の拡張及び情報コーナー、団体待合所、飲食物販施設増築等の実施設計(その②)を完了した。					

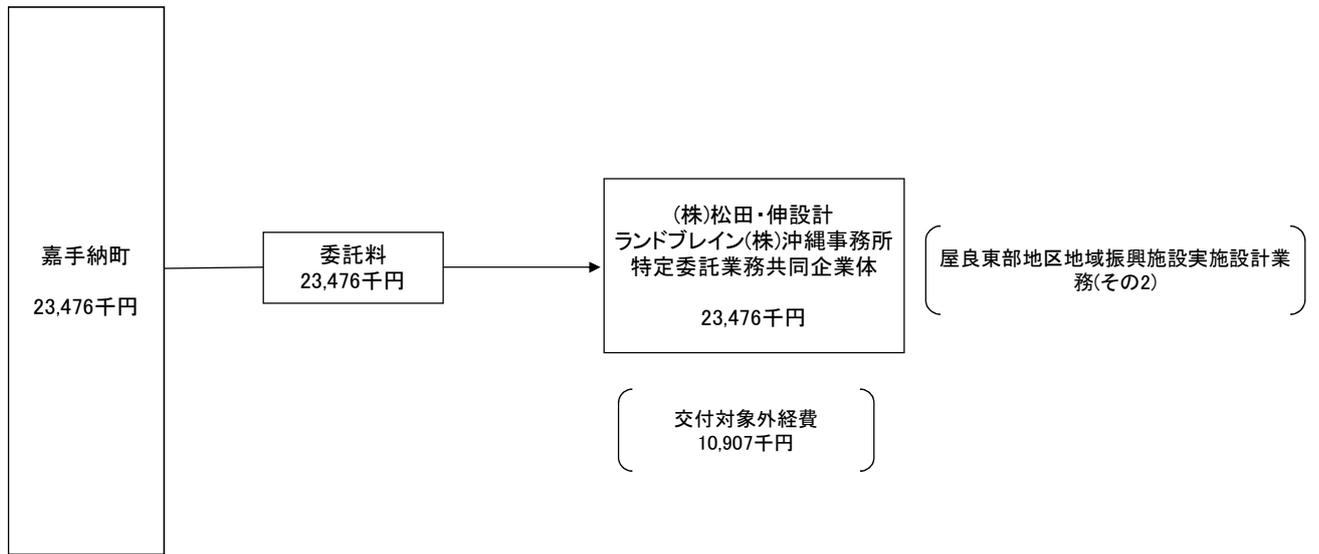
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>飲食物販の与条件整理に時間を要し、実施設計策定業務を分けて発注することとなった。そのため、平成29年度に完了した実施設計その①及び飲食物販施設等の与条件整理した内容と整合性を図りながら実施設計その②の策定業務に取り組む必要があった。</p> <p>また、実施設計策定の際に、今後の運営方針や設備の内容、工期の設定が適正であるか検討する必要が生じた。</p>	<p>業務内容の把握及びスケジュールを徹底し、関係者や町民とのコンセンサスを形成を図り、当初予定通りに事業を推進するべきである。</p> <p>さらに、施設の機能拡充後の運営方法等を検討しておく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

令和元年度より工事着工となる。令和3年度の供用開始に向けて、関係団体やテナント事業者との調整を交えながら遅延なく工事完了に向けて業務推進する必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
34,383	23,476	18,780	4,696	10,907



資金の流 れ、 点 検 ・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、事業の規模や実績等を勘案し、指名審査委員会にて決定したため妥当だと考える。 ○予算規模については2社以上から見積もりを徴収し、予算を積算しており妥当だと考える。 ○費目、用途については、精算段階で内容を検証しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

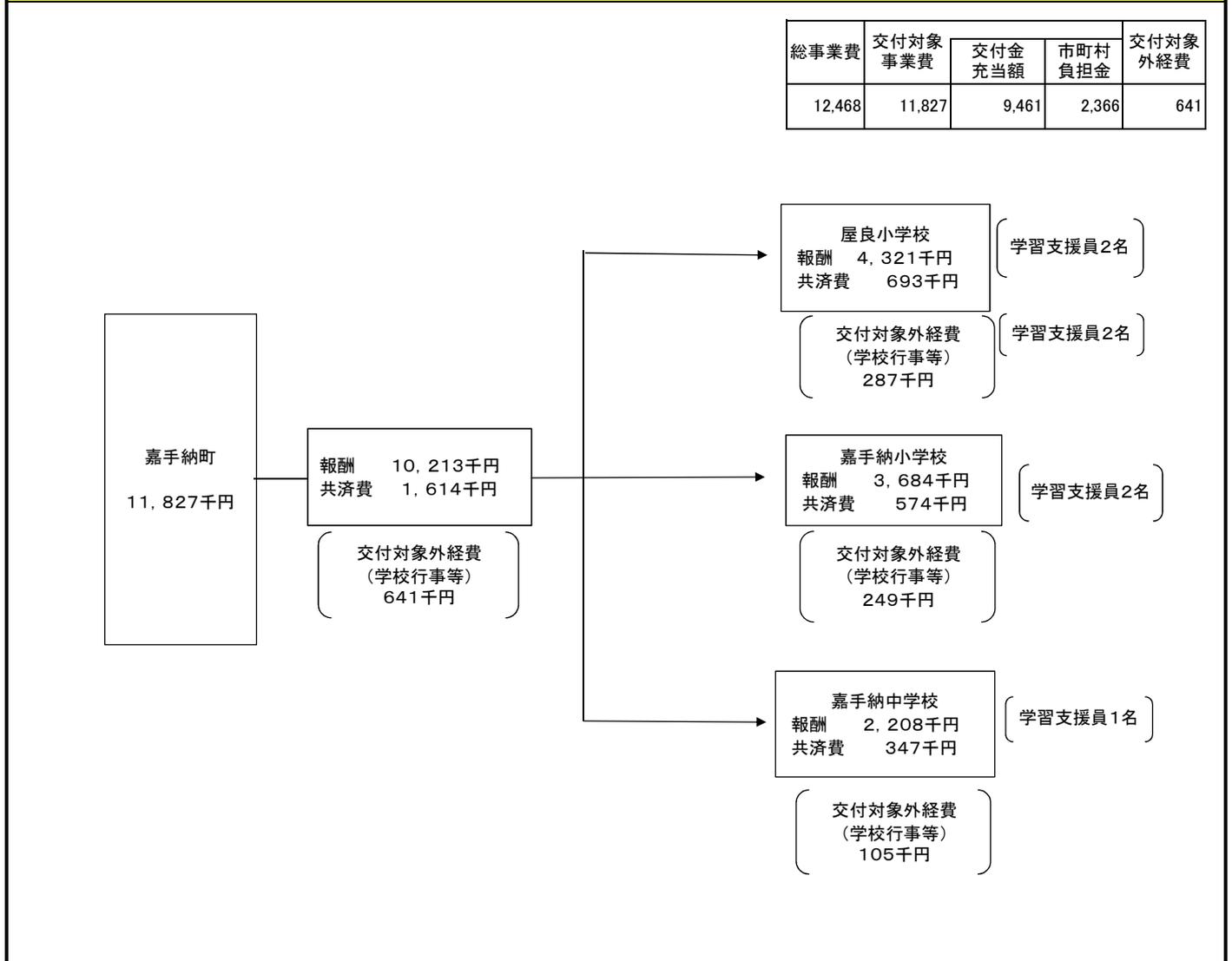
市町村名		嘉手納町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学力向上を図るため、教師と連携を図りながらチームティーチングを行うとともに、夏休み中に個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
		(a) 当初予算額	10,552	13,212	13,186	13,201	13,221	
	(b) 予算現額	10,552	12,986	12,657	12,082	12,599		
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 226	▲ 529	▲ 1,119	▲ 622		
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-		
	A. 計(b+d)	10,552	12,986	12,657	12,082	12,599		
	B. 執行済額	10,277	12,986	12,657	11,993	11,827		
	うち交付金充当額	8,221	10,389	10,125	9,594	9,461		
	次年度繰越額	-	-	-	-	-		
	執行率(%) (B/A)	97.4%	100.0%	100.0%	99.3%	93.9%		
予算の状況の説明	不用の理由は、雇用者のうち1名が4月途中で退職し、後任の採用が7月となったため約3ヶ月分の未雇用報酬及び社会保険料が生じたこと、雇用者のうち1名に欠勤があったことによるものである。また、予算減額の理由は、対象外経費によるものである。							
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	学習支援員配置数:5人 小学校:4人 中学校:1人	目標	(小学校3人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)		
		実績	小学校3人 中学校1人	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人		
	算数・数学の授業でチームティーチングや放課後の補習で学習支援を行う。学習支援する児童生徒の人数:60人(学習支援員1人あたり児童生徒10人に対応する)	目標	()	()	()	(60人)		
		実績				30人		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員を本町小学校に4名(各学校2名)、中学校に1名配置した。 ・小学校においては、学級担任とのチームティーチングとして個別の対応や放課後の補習指導を行った。 ・中学校においては、学習内容の定着が十分でない生徒を対象に、学級内で個別のチームティーチングを通じての学習支援や放課後(毎週月、水)・長期休業中の補習、数学検定対策講座をおこなった。 ※チームティーチング:複数の教職員が役割を分担し、協力し合いながら指導する方法。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差		目標	()	(県平均以上)	(県平均以上)	(小:-1.3 中:-3.7)	()
	小学校:-1.3ポイント以上 中学校:-3.7ポイント以上		実績		小5国語○算数× 中2国語×数学×	小5国語×算数× 中2国語×数学×	小:-3.1 中:-8.6	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明	沖縄県到達度調査の県平均と比較すると、小中どちらも県平均を上回ることができなかった。 平成30年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・小学校・・・小5算数:県平均60.2%、本町57.1%【-3.1ポイント】 ・中学校・・・中2数学:県平均53.4%、本町44.8%【-8.6ポイント】							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①小学校において達成できなかった要因は、日頃の学級担任と学習支援員の協力体制の構築が不十分でことがあげられる。 ②中学校においては全年度の11.1ポイント差から縮まっているが目標値までは達していない。学校からはチームティーチングでの指導体制の工夫改善の必要性が課題として上がっている。	①学習支援員の役割を再認識させ授業時の支援の在り方について助言していく。 ②課題解決を学校任せにするのではなく、教育委員会が数学の教科会へ参加し、協議、助言していく。

今後の取り組み方針

①学習支援員の役割を再認識させ授業時の支援の在り方について助言していくことで県平均との差を縮める。
 ②教育委員会が数学の教科会へ参加し、年2回(7月:4月~6月の学習支援員の活用について、10月:2学期の活用について)授業時のチームティーチング時の教師との連携の強化や補習時の生徒への呼びかけ等のあり方について協議、助言することで、学習支援員が効果的に支援を行えるようにし、指導体制の改善を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、点 検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。 ○予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。 ○費目・用途については、報酬と共済費のみであり、支援配置事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	英語力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
事業内容	小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校は実用的な英語を学ぶため、ネイティブスピーカーの英会話指導員(ALT)や英語指導員(中学校のみ)を配置し、児童生徒の英語への興味・関心を高めるとともに、英語学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	(a) 当初予算額	16,014	15,881	17,876	17,865	18,074
		(b) 予算現額	16,014	16,132	16,908	17,136	16,919
		(c) 増減額(b-a)	0	251	▲ 968	▲ 729	▲ 1,155
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	16,014	16,132	16,908	17,136	16,919
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額	B. 執行済額	15,720	16,132	16,908	16,489	16,288
		うち交付金充当額	12,576	12,906	13,526	13,191	13,030
		次年度繰越額	-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		98.2%	100.0%	100.0%	96.2%	96.3%
予算の状況の説明	不用の理由は、雇用者のうち1名が12月に途中退職したことによる報酬の減(418千円)と、当初見込んだ勤務日数と実質勤務日数の差によるものである。また、予算減額の理由は、対象外経費分と雇用者のうち2名の欠勤によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	英会話指導員の配置数 小学校3人、中学校2人	目標	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	
		実績	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	
	英語指導員の配置数 中学校 1人	目標	(中学校1人)	(中学校1人)	(中学校1人)	(中学校1人)	
		実績	中学校1人	中学校1人	中学校1人	中学校1人	
達成状況説明	英会話指導員(ALT)を小学校3名、中学校2名に、英語指導員を中学校に1名配置した。 小学校では、学級担任とALTとで連携し英会話の授業を展開している。 中学校では、担当教師とALT英語指導員で、英会話の授業を展開している。 また、中学校では放課後の学習支援並びに英検対策講座をおこなっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	①(小学校) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		83%	84%	76%	
	②(中学校) 英語検定3級以上の合格者	目標	()	(50名)	(50名)	(45名)	()
		実績		35名	31名	25名	
	③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差-2.8ポイント以上	目標	()	()	()	(-2.8)	()
実績					-1.7		
進捗状況説明	・小学校においては、児童のアンケートで「英会話の授業が楽しいですか」の項目で、76%児童が楽しいと答えた。 ・中学校においては、3級以上の年間合格者を目標45名としたが、結果は25名となり目標の数値に達することができなかった。 ・沖縄県到達度調査の県平均との比較については、-2.8ポイント以上を達成することができた。 平成30年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・中学校・・・英語:県平均54.6%、本町52.9%[-1.7ポイント]						

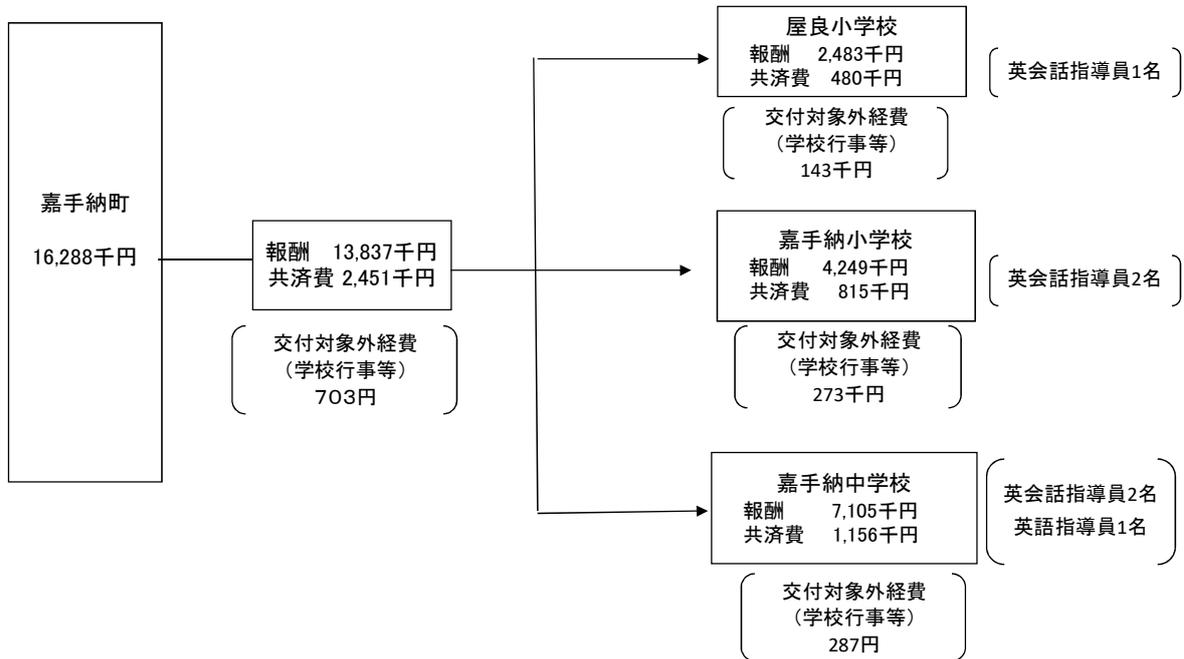
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①小学校のアンケート結果について、小1～4の「楽しい」が85%であるのに対し、小5は63%、小6は59%と、高学年で学習意欲が低下している。</p> <p>②中学校においてはアンケートの結果からは前年度より英語に対する興味関心が低くなっていることが影響してか、英検の受験者数が前年度より減少し、合格者数も減少している。</p> <p>③沖縄県学力到達度調査について、昨年より3.1ポイントの上昇で県との差が-1.7ポイントとなり、目標を達成している。</p>	<p>①英会話指導員の関わる授業が一斉指導に偏っていたため、英語に親しませる授業を行えていなかったと考えられる。</p> <p>②英検への対策講座等は開いているが、参加への周知や資格取得にむけての取組を強化する必要がある。</p> <p>③英会話の授業と教科の英語の内容を関連させる工夫をしたことが、達成の要因と考えられる。</p>

今後の取り組み方針

- ①児童生徒が主体的で協働的な学びができるよう、個の発表の機会や集団での学び合いの場の設定に取り組み授業改善をおこなうことで、児童の英語に対する関心意欲を高め、英語に親しむ環境を整える。
- ②中学校においては、キャリア教育と関連付けながら英検取得への意欲を高め、受験者数の増加及び合格者数の増加を目指す。
- ③引き続き、英会話の授業と教科の英語の授業の関連をもたせ、生徒の理解を深めることを強化することで、目標達成を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
16,991	16,288	13,030	3,258	703



資金の流 れ、 点 検 、 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指導員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、報酬と共済費のみであり、英語力強化事業に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町
------	------

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	ICT活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部署名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
 情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、情報機器等の操作能力の向上を支援するICT支援員を配置することにより、教員のICT機器の習熟度向上及び学校教育の質を確保する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額	7,034	7,050	7,074	7,080	7,091	
		7,034	6,113	7,082	6,753	6,628	
		0	▲ 937	8	▲ 327	▲ 463	
		-	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		7,034	6,113	7,082	6,753	6,628
	B. 執行済額		6,908	6,113	7,082	6,751	6,629
	うち交付金充当額		5,526	4,890	5,665	5,401	5,303
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明 当初予算からの減額は、対象外経費分と、指導員のうち1名に欠勤(135千円)があったことによるものである。						

活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		パソコン指導員配置数:3人 小学校:2人、中学校:1人	目標 (小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)
達成状況説明	各学校に1名のパソコン指導員を配置し、PC教室の環境づくりや関連機器の準備、電子黒板の活用アイデアの提供を行った。授業の際は、児童生徒への機器操作の指導を補佐した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	目標	()	(80%)	()	()
	実績				86%		
	教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績			96%		
進捗状況説明	教師のICT機器の使用率は、電子黒板98%、書画カメラ91%となっており、ICT機器を活用した授業を分かりやすかったと答えた児童生徒の割合は86%となっている。また、ICT支援員の支援により機器が有効に活用できたと答えた教師は96%であることから習熟度が上がったと考えられる。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○電子黒板、書画カメラなどのICT機器を活用した授業は児童生徒の理解を促進するのに有効であったといえる。	○引き続き、授業でのICT機器の積極的な活用を促す。
	○令和2年度より導入が義務づけられているプログラミング教育に関連するソフト等について、教師のソフトの使い方や機器操作のスキルが不足している。	○教師の習熟度を上げるため、プログラミング教育導入に係る機器操作に関する研修や支援をおこなう必要がある。

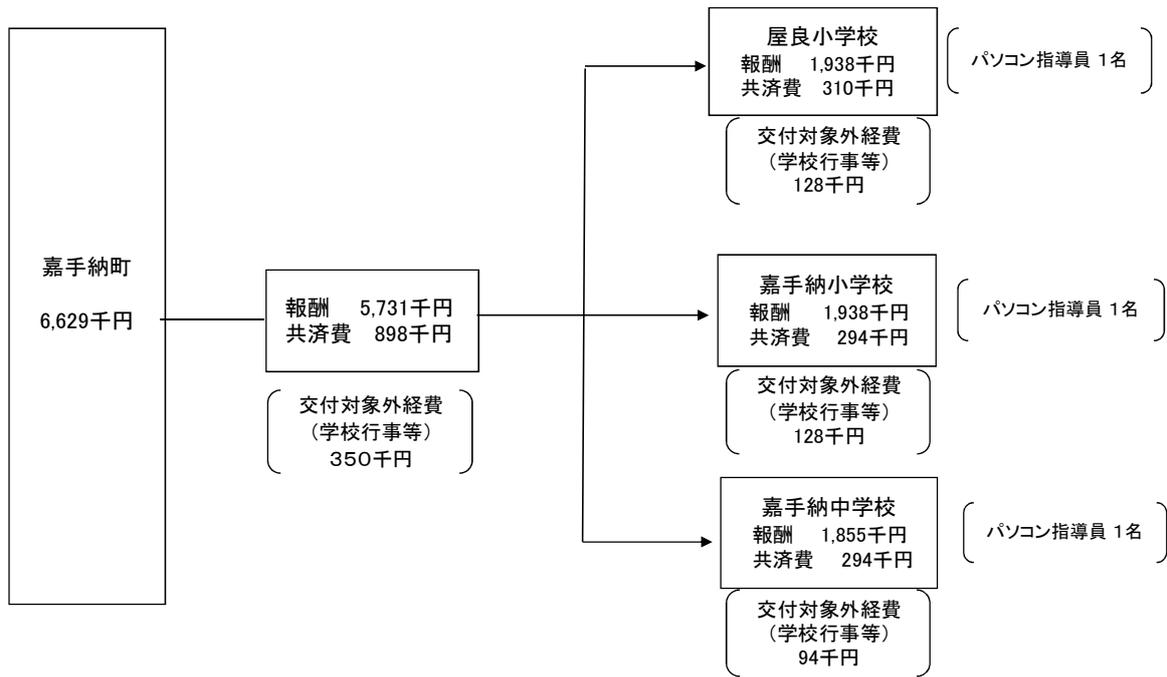
今後の取り組み方針

○ICT機器を積極的に活用することで学校教育の質の確保を図るとともに、継続的にアンケートを実施ながらその効果を検証していく。

○プログラミング教育導入に向けて、教師の機器操作スキルをアップを目指し、パソコン指導員による研修や機器の操作の支援をおこなう。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,979	6,629	5,303	1,326	350



資金の流 れ、 点 検 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。 ○予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。 ○費目・使途については、報酬と共済費のみであり、支援配置事業に必要なものに限られている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

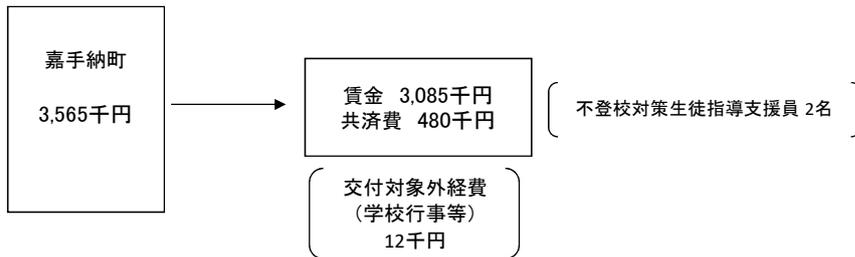
市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	不登校対策生徒指導支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進	
事業内容	特別な支援を要する不登校の生徒に対応した支援を行うことで不登校の改善を図るため、中学校へ生徒指導支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	1,977	3,493	3,481	3,540	3,541
		(b) 予算現額	1,977	3,128	2,589	3,151	3,566
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 365	▲ 892	▲ 389	25
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		1,977	3,128	2,589	3,151	3,566
	B. 執行済額		1,764	3,128	2,589	3,151	3,565
	うち交付金充当額		1,411	3,128	2,071	2,520	2,852
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		89.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		予算額の増は、社会保険料が当初見込みより増となったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	生徒指導支援員の配置数:2人(中学校:2人)		目標 (中学校2人)	(中学校2人)	(中学校2人)	(中学校2人)	
			実績 中学校2人	中学校2人	中学校2人	中学校2人	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	中学校へ2名の不登校対策生徒指導支援員を配置し、生活リズムの崩れた不登校生徒へ登校支援や生活指導、悩み相談を実施した。また、登校しても学級へ復帰できていない生徒に対して校内での居場所づくり、学習支援等の支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	不登校生徒復帰率 16.7%以上		目標 ()	(16.7%)	()	()	()
			実績		30%		
進捗状況説明	平成30年度3月時点で、累計での不登校生徒10名に対して3名が復帰できたため、不登校復帰率は30%となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①ねばり強い献身的な声かけ(相談活動)や保護者への連絡を密にすることで家庭との信頼関係を構築し、協力体制を強化し、登校につなげることができた。 ②学校へ登校するようになったが教室への復帰までは至っていない生徒がいる。 ③次年度、欠席の多い生徒(10日～30日の欠席)3人と、小学校で不登校又は欠席が多い児童6人が入学してくることとなっている。	①今後とも相談活動、保護者との連携を密におこなう。 ②教室復帰に向けて、校内での居場所づくりなどの支援をおこなう。 ③支援対象となる生徒が欠席している場合は、欠席が長期化しないよう、早期に対応を行う必要がある。

今後の取り組み方針
①今後とも相談活動、保護者との連携を密におこなうことで、生徒の心理面の変容を促し、協力体制の強化を図る。 ②教室復帰に向け、校内で教育相談や清掃活動などの協働作業をおこない、居場所づくり人間関係づくりさらに学習に取り組みさせるなどの支援をおこなうことで、これまで不登校だった生徒への魅力ある学校づくりを進める。 ③支援対象となる生徒が欠席している場合、電話連絡、家庭訪問等により早期に対応することで不登校となるのを防ぐ。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,577	3,565	2,852	713	12



資金の流 れ、点 検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。 ○予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。 ○費目・用途については、賃金と共済費のみであり、支援配置事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-⑤	スクールカウンセラー活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)
事業内容	学校生活や学級集団への不適応や対人関係での問題が生じている児童生徒に対応するため、スクールカウンセラーを配置し、専門的な見地から児童・生徒、保護者、教師等との相談業務を行い、学校生活に適應できるよう支援する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	2,592	4,954	4,962	4,988
	(b) 予算現額	2,556	4,973	4,860	4,792	1,773
	(c) 増減額(b-a)	▲ 36	19	▲ 102	▲ 196	▲ 2,568
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)	2,556	4,973	4,860	4,792	1,773
	B. 執行済額	2,556	4,973	4,860	4,791	1,772
	うち交付金充当額	2,000	3,978	3,887	3,832	1,417
	次年度繰越額	—	—	—	—	—
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%
予算の状況の説明	予算の減は、スクールカウンセラーの年度途中の退職により報酬と共済費を減額したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	スクールカウンセラーの配置数:1人 (青少年センター:1人)	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)
		実績	1人	1人	1人	1人
	カウンセリングの実人数:20名	目標	()	()	()	(20名)
		実績				56名
	相談支援件数:20名	目標	()	()	()	(20名)
実績					56名	
達成状況説明	青少年センターへスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置し、児童生徒と保護者の相談業務を行い、児童生徒の行動観察や支援体制の検討を実施した。適応指導教室の児童生徒においては、適応指導教室相談員に対する助言等を行ったり、対象児童生徒等へのカウンセリングを実施したが、スクールカウンセラーが年度途中で退職することとなり、その後は配置ができていない。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		目標	()	(68.7%)	()	()
	実績		66%			
進捗状況説明	平成30年度の目標を68.7%としたが、各学校のアンケートの結果では66%となっており、わずかに目標値に届かなかった。					

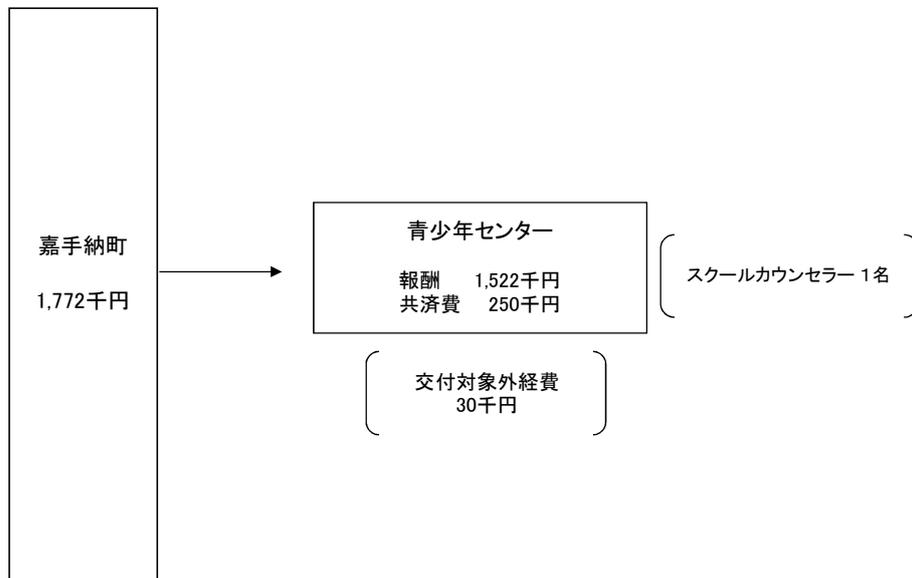
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①スクールカウンセラーの途中退職により、年間を通した活動に十分に取組むことができなかった。 ②児童生徒及び保護者との信頼関係構築に時間がかかり、困り感の改善等への手立てまでに難航するケースがある。 ③相談等が気軽に行えるように電話番号等を記載したカードを児童生徒に配布する取組みを行ったが、なかなか児童生徒本人からの相談には繋がらなかった。	①退職後、速やかに後任者を配置できるよう取組む必要がある。 ②学校、関係機関と連携を密にし、きめ細やかな相談をすることで早期の信頼関係の構築、困り感改善への支援を目指す。 ③児童生徒へスクールカウンセラーの存在を広く知ってもらい、電話相談や窓口相談の充実努める必要がある。

今後の取組み方針

- ①ハローワークや沖縄県臨床心理士会等を活用し、スクールカウンセラーの早急な人材配置を図る。
- ②定期学校訪問において、各学校の相談担当の教師と連携を密にし、授業観察、児童生徒への面談、教師や保護者への助言を行い、困り感解決への援助を実施する。
- ③広く事業を周知するために、学校へ足を運び、集会等で紹介してもらおう等工夫する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,802	1,772	1,417	355	30



資金の流 れ、 検 査 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○スクールカウンセラーは嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、報酬と共済費のみであり、配置事業に必要なものに限られている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

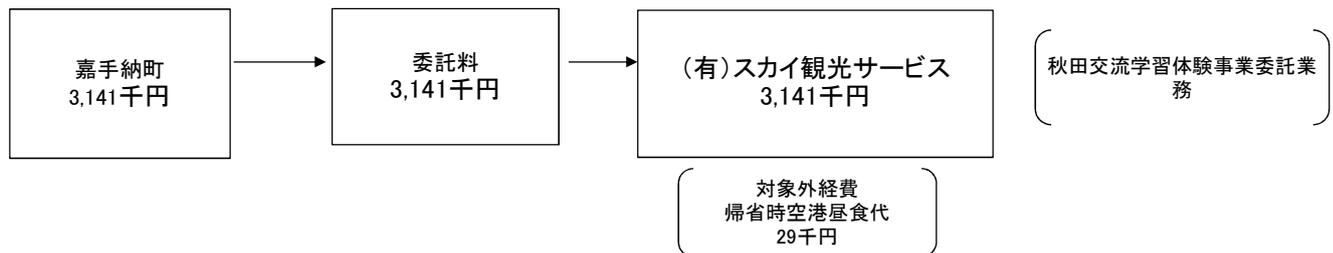
市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	秋田交流学習体験事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部署名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成26~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒が教育先進地である秋田県大館市の学習規律を学び、教師は指導方法や授業づくりについて学ぶため、交流学習体験を行う。また、秋田県の授業の実践や授業改善等の研修を行うため、大館市の教師を招聘し、秋田型授業のよさを理解し各学校の授業改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,443	3,985	3,814	3,308	3,900
		(b) 予算現額	3,443	2,862	2,853	2,944	3,142
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,123	▲ 961	▲ 364	▲ 758
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		3,443	2,862	2,853	2,944	3,142
	B. 執行済額		3,077	2,862	2,853	2,944	3,141
	うち交付金充当額		2,461	2,289	2,282	2,355	2,513
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		89.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		補正予算額(758千円)は、委託料の入札残(755千円)と対象外経費(3千円)である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	秋田県への派遣 ・児童生徒 20人 ・教師 9人	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	秋田県からの招聘 ・教師 3人	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	<p>・10月に小中学生20名、教諭8名、教頭1名を秋田県大館市へ派遣した。児童生徒は、各学校で現地の小中学校で授業や学校行事を体験した。本町教諭は現地の教諭とのチームティーチングや教材研究、授業実践をおこない、教頭は小中それぞれの校長との意見交換の機会をもち学校経営等について説明を受けた。</p> <p>・9月に秋田県大館市より校長1名、教諭2名を招聘した。招聘した校長が本町の校長との学校経営等に関する意見交換をおこなった。招聘した教師は、本町の教諭とのチームティーチングや教材研究、示範授業をおこなった。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	(派遣された児童生徒へのアンケート) ・学習規律を学ぶことができたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		100%			
	(研修会や報告会を受けた教師へのアンケート) ・授業環境の改善や指導法の工夫を行って「こうというスキル・意欲が身に付けられたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		63.3%			
	進捗状況説明	<p>派遣された児童生徒のアンケートでは、どの生徒も「学習規律について学ぶことがたくさんあった」と回答している。「発表者に体を向けている」「途中で質問しない」などの聞く態度や「大きな声でたって発表する」「聞いている人の反応を確認しながら話す」など話す態度を学んだとの声があった。</p> <p>教師のアンケートでは、「学び合いについての理解が深まった」が63.3%で、目標には届かなかったものの、教育に対する意欲の高まりを示す感想が多くみられた。また、派遣された教師の授業では授業環境の改善が見られ、報告書でもリーダーとして今回の成果を広めていく意欲が示されていた。</p>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○児童生徒のアンケートでは成果目標を達成しており、交流学習体験の意義が十分に感じられる結果となった。派遣中も、児童生徒による話し合いの場を設定することで、それぞれが体験して学んだことの共有やその学びの広め方、広めるにあたって障害となることその障害の解決策を話し合いリーダーとしての意欲の高まりが見られた。</p> <p>○教師へのアンケートは全て回収したものの、36.7%が無回答となっていた。</p> <p>○秋田県への派遣は、小学校及び中学校が合同で行うため、小中連携により更に事業効果を高めることができると考えられる。</p>	<p>○今後も100%の達成を目指して児童生徒の派遣を実施する。</p> <p>○教師への聞き取りを行ったところ、アンケートへの回答方法や項目に対する説明が不足していたため、無回答が多くなってしまったと考えられる。</p> <p>○小中の学びの連続性を見ることで、授業改善の意欲の向上に資すると考える。</p>

今後の取り組み方針
<p>○引き続き児童生徒の派遣を実施し、多くの生徒に学習規律が学べる機会を提供していく。</p> <p>○教師の声がきちんと反映されるようアンケートの様式を見直し、全ての教師から回答を得ることで成果目標を適切に測ることができるよう取り組む。</p> <p>○秋田県への派遣時に、小学校教師は中学校へ中学校教師は小学校へ移動して授業参観し、小中の学びの連続性を本町の現状と比較させることで、小中連携した授業改善の意欲向上、スキルアップをねらう。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,170	3,141	2,513	628	29



資金の流 れ 点 検 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は入札により選定している。</p> <p>○予算規模は業者より見積を徴し、計上したものであり、適正である。</p> <p>○費目・用途は事業目的に則し、移動や宿泊等必要なものに限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

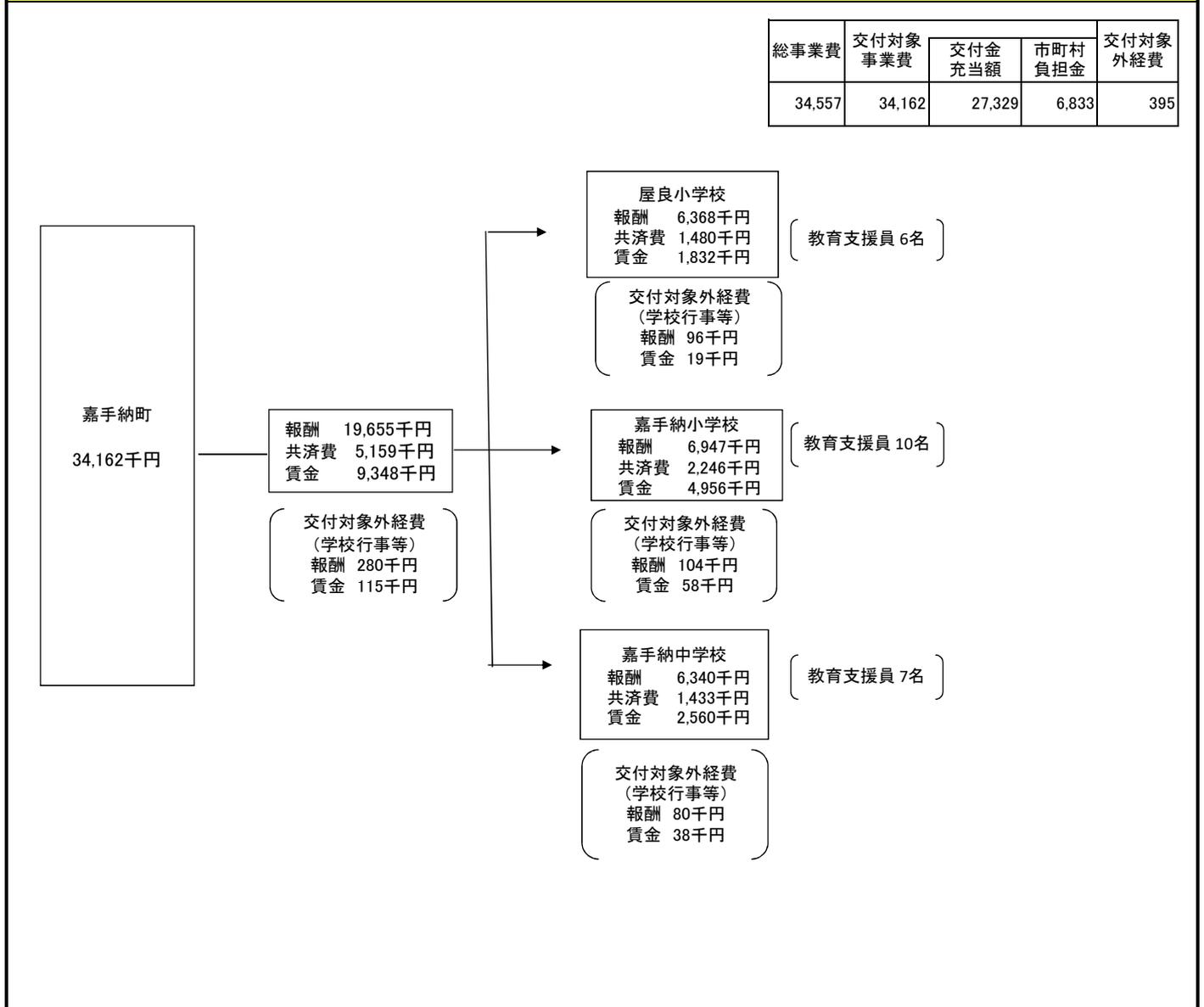
市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	発達障害等による特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	40,292	47,862	45,459		
		(b) 予算現額	30,530	45,575	36,929		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 9,762	▲ 2,287	▲ 8,530		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	30,530	45,575	36,929		
	B. 執行済額		30,530	44,225	34,162		
	うち交付金充当額		24,423	35,380	27,329		
	次年度繰越額		-	-	-		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.0%	92.5%		
予算の状況の説明		小中学校において報酬、賃金、共済費12ヶ月分が執行されている。雇用総数は嘱託員15名臨時職員8名で、そのうち6名が途中雇用、うち1名は12月途中退職。予算の減額は、当初見込んでいた人数を雇用できなかった雇用分の報酬、賃金、共済費の減額によるものである。また、不用の理由は、当初見込んでいた人数を雇用できなかった未雇用分の報酬、社会保険料分と、当初見込んだ勤務日数と実質勤務日数の差によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	特別支援教育支援員配置:28人 小学校:20人、中学校:8人	目標	(小学校16人 中学校 7人)	(小学校20人 中学校 8人)	(小学校20人 中学校 8人)	()	
		実績	小学校23人 中学校 8人	小学校17人 中学校 8人	小学校16人 中学校7人		
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	小学校に16名、中学校に7名の支援員を配置し、対象児童生徒(小学校27名、中学校15名)に対し、授業等、学校生活におけるリズムを整えさせ、学校生活におけるコミュニケーションや学力の習得するための環境づくりの支援をすることができた。しかし、小学校では4名、中学校では1名を配置することができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		85%			
	進捗状況説明	対象となる児童生徒の保護者に対し、支援員の配置によって子どもの学校生活や学習上の困り感が改善されたかについてアンケートを取ったところ、「とても改善された」「改善された」の数値の合計が85%となり、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①目標は達成しているが、支援員によっては対象児童生徒の障害やその日の状態に合わせた支援へのスキルが不足している。	①支援員個々のスキルアップのために研修会をもつ必要がある。
	②支援対象の児童生徒が年々増加しているため、個々のサポートが不足することが予想される。	②目標とする配置数が達成できない状況を考慮すると配置数の増加でなく、支援員個々のスキルをアップし、1人で複数の児童の対応をする力をつけさせるが必要になる。
	③保護者のアンケートから学習指導の要望がある。	③支援員に教員免許保持者がいることから、授業時の学習内容等へのサポートを検討する。

今後の取り組み方針

- ①支援員個々のスキルアップのための研修を年に5回開催し、どの対象児も満足する支援を受けられるようにする。
- ②支援員個々のスキルをアップさせる研修を通して、1人で複数対応できるような体制づくりと、支援の対象の児童生徒の条件を整理することで対象の児童生徒と支援内容を明確にする。
- ③保護者の要望に応え、支援員の業務に学習指導を盛り込めるよう模索し、授業時の学習内容のサポートをおこなうことで学びの保障を支援する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町嘱託員設置要綱に基づき採用した。 ○予算は嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則に基づき計上されており、適正であった。 ○費目・使途については、賃金、報酬、共済費のみであり、支援配置事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①		廃棄物リサイクル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア		
	担当部署名	産業環境課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進	
事業内容		ごみ処理施設及び最終処分場の長寿命化に向け、リサイクルを促進しながら町全体の美化を図るため、本町で排出されている草木を回収、チップ化し再資源化する。					Ⅲ-10-(1)	
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	50,214	15,491	13,397	11,831	11,928	
		(b) 予算現額	50,214	11,374	11,843	11,769	12,386	
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 4,117	▲ 1,554	▲ 62	458	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
		A. 計(b+d)	50,214	11,374	11,843	11,769	12,386	
	B. 執行済額		44,195	11,374	11,842	11,742	12,384	
	うち交付金充当額		35,356	9,099	9,474	9,393	9,907	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		88.0%	100.0%	100.0%	99.8%	100.0%	
予算の状況の説明		ガソリン代の高騰により予算額を補正。100%執行することが出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	町民へ再資源化できる、廃棄物の分別徹底の周知を行う。そのことにより、これまで以上の草木の収集に取り込む。		目標	(木くずの再資源化)	(木くずの再資源化)	(木くずの再資源化)	(分別徹底の周知)	
			実績	木くずの再資源化(チップ化実施)	木くずの再資源化(チップ化実施)	木くずの再資源化(チップ化実施)	分別徹底の周知	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	草木回収委託業者により、草木の分別ができていないゴミ袋へ、分別指導のシールをごみ袋へ張り、分別の徹底を図った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	草木の再資源化(チップ化)量 683t		目標	()	(600t)	(600t)	(683t)	()
			実績		686t	604t	600t	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	草木回収しチップ化することで、平成30年度において一般廃棄物全体の11.64%の再資源化を達成することが出来た。ただし、前年度、前々年度の実績から算出した、当初見込んでいた公共事業からの搬入量に対して、平成30年度の搬入量が大幅に減少したため目標値を達成することが出来ず、600tという結果になった。						

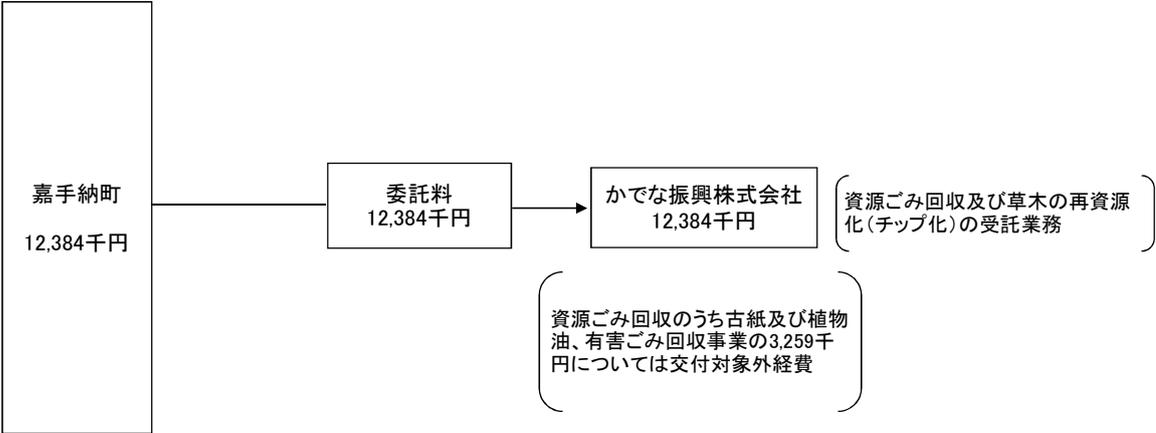
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業の搬入量は予測が難しいが、町全体でのリサイクルを促進していくため、一般家庭へ本事業をより周知することが効果的であると考えられる。 リサイクラーの製造量が低下し、修繕を要する頻度が上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民に対する草木のリサイクル事業による草木チップの無料配布の周知をさらに徹底していく。 リサイクラーの定期メンテナンスを毎年度実施し、急な故障等を未然に防ぐ必要がある。

今後の取り組み方針

- 広報誌に定期的に情報を掲載し、ホームページなどの情報発信ツールも活用しながら、チップの無料配布の周知を図る。
- 次年度より定期メンテナンスを実施し、急な故障による複数日の停止日に対する代替日発生日数を抑制し、且つ、製造量低下を防ぐことでチップ化効率を上げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,643	12,384	9,907	2,477	3,259



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業は随意契約により実施されているが、委託先業者は長年一般廃棄物回収業者として従事しており、町の公衆衛生上問題なく業務を遂行しており、妥当である。 ○予算規模については、不用額がなく、予定していた事業内容を実施しており、適正な規模であったと考える。 ○費用・使途についても、従事した者の勤務状況報告書により履行状況を把握し、経費についても領収書などの提出により明確にされているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

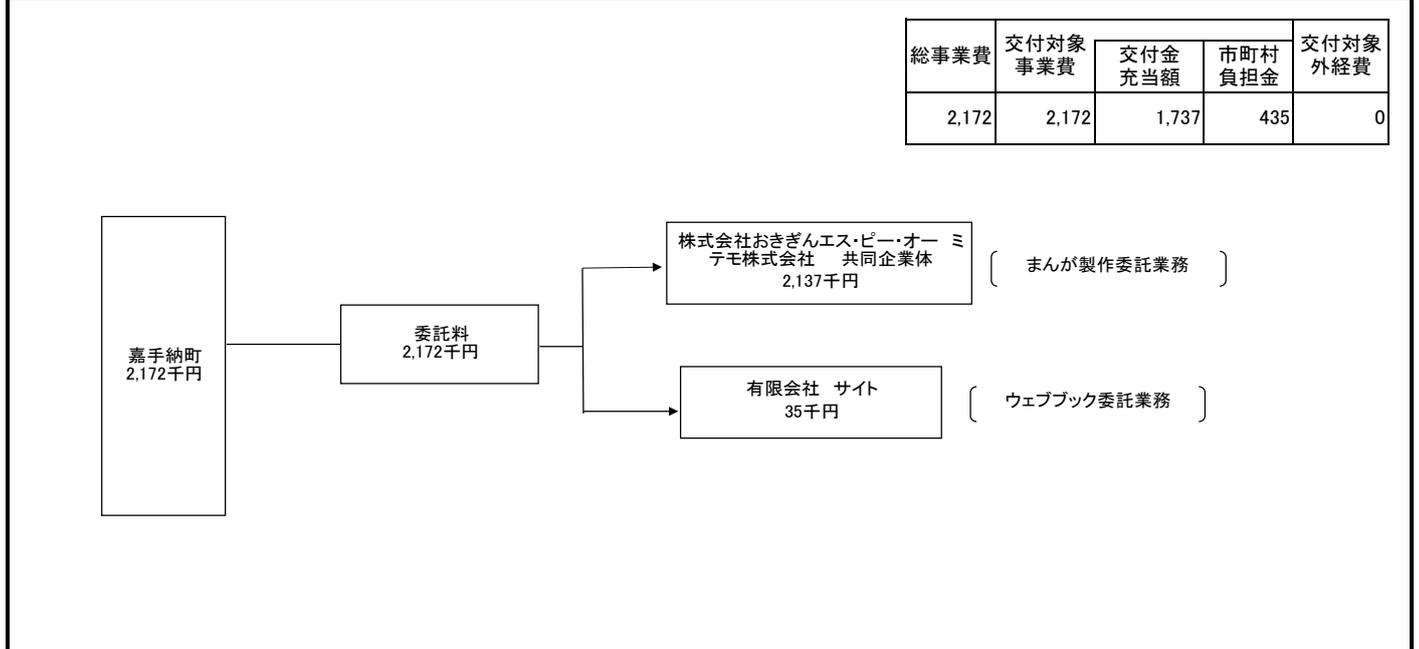
市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	食育まんが啓発推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア	
担当部署名	町民保険課	事業実施(予定)年度	平成26~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-4	
事業内容	健康的な食生活の情報を周知することで、町民の食生活の改善に対する意識の向上を図るため、食育まんがの制作および配布を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,199	2,138	2,138	2,394	2,280
		(b) 予算現額	1,199	2,138	2,138	2,174	2,173
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 220	▲ 107
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		1,199	2,138	2,138	2,174	2,173
	B. 執行済額		1,199	2,138	2,138	2,173	2,172
	うち交付金充当額		959	1,710	1,710	1,738	1,737
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		100%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%
予算の状況の説明		当初の計画どおり期間内に事業が完了した。公募型プロポーザル方式の予算残額は、3月補正にて107千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	まんがの制作(2本)	目標	(2作品)	(2作品)	(2作品)	(2作品)	
		実績	2作品	2作品	2作品	2作品	
	対象世帯等への配布(4,970部)	目標	(6,000部)	(100%)	(100%)	(4,970部)	
		実績	6,000部	100%	100%	4,970部	
	ウェブブック化(2本)	目標	()	()	(7本)	(2本)	
		実績	/		7本	2本	
	食育推進事業の開催(4回)	目標	()	()	()	(100%)	
		実績	/		/	100%	
達成状況説明	食育まんがを2作品作成(4,970部/作品)し、町内の全ての世帯に配布するとともに、ウェブブックを2本掲載した。また、食育まんがに掲載されているレシピを作る食育教室を4回開催した。(6月2回、7月1回、8月1回の計4回)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
			()	(80%)	()	()	()
	アンケートを実施し、食生活の改善に対する意識の向上が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績	/	86.8%	/	/	/
進捗状況説明	平成30年11月末に、「広報かでな」で折込(4,930部)のアンケート調査を行った。71世帯から回収し集計した結果、食生活の改善に対する意識の向上が図られた者の割合は、目標値80%を上回る86.8%の結果となった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果より食生活の改善に対する意識の向上が図られた者の割合が目標値80%以上、結果86.8%で意識の向上に関しては目標を達成した。しかし、実際に食育まんがに掲載されている沖縄料理を家庭で作る者の割合が50%と低かったため、沖縄料理等を作る者(実践する者)の割合を増やし、まんがの内容を町民の関心の高いテーマにすることが必要である。 前年度までは配布先を中学生の子どもがいる世帯までに限定していたが、本年度から配布先を全世帯に拡大している。 本事業を実際の食生活の改善につなげるため、食育まんがに掲載されているレシピを作る食育教室を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人まで家で簡単に作ることが出来る沖縄料理のレシピ紹介を行うとともに、町民の関心の高いテーマの食育まんがを制作する。 子どもがいない世帯でも食育まんがが喜ばれていることが確認できたため、今後も全世帯への配布が有効と考える。 食育教室では「お芋は美味しくて栄養があるんだね!」「また食育教室に参加したい!」等の感想があったため、今後も開催することで、健康的な食生活の実践につなげることができると考える。

今後の取り組み方針

- 食育まんがを通じて健康的な食生活を実践できるよう、家庭で沖縄料理を作る者の割合を増やすため、子どもから大人まで家庭でも簡単に作ることができる沖縄料理のレシピ紹介を行う。次年度は食と健康をテーマに取り上げ、食育まんがを作成する。
- 引き続き、配布先を町民全体に拡大することで、町民全体の食生活習慣の改善につなげていく。
- 今後も食育教室を開催するほか、健診結果説明会やウォーキング大会でも食育まんがを活用するなど、本事業が実際の食生活習慣の改善及び実践につながるような取組を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 用途の流 れ点検 、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○公募型プロポーザル方式により民間業者より選定し随意契約した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は4社から見積りを徴し、比較検討したため適正な規模と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	⑤-1	避難施設防災機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
事業内容	防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品等の導入及び備蓄倉庫の整備を行い、災害時の町内避難者や観光客等の食料及び飲料水等の確保を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	35,787	15,788	30,143	15,156	
	(b)予算現額	29,334	14,710	30,143	12,771		
	(c)増減額(b-a)	▲6,453	▲1,078	0	▲2,385		
	(d)繰越額	-	-	-	-		
	A.計(b+d)	29,334	14,710	30,143	12,771		
	B.執行済額	29,334	14,710	27,550	12,771		
	うち交付金充当額	22,545	11,767	22,040	10,216		
	次年度繰越額	-	-	-	-		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	91.4%	100.0%		
予算の状況の説明		嘉手納町の防災・減災に向けて備蓄倉庫を設置し必要最低限の備蓄を図った。予算減2,385千円は、指名競争入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	町内の避難所へ備蓄品等の配置及び保管用備蓄倉庫の設置(屋良小学校・屋良幼稚園 2ヶ所)	目標	(3か所)	(2か所)	(3か所 配置・設置)	(2か所 配置・設置)	
		実績	3か所	2か所	3か所 配置・設置	2か所 配置・設置完了	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	町内避難所である屋良小学校に備蓄倉庫3基、屋良幼稚園に備蓄倉庫1基を設置した。併せて、非常食料の備蓄(300名3日分)、生活必需品の備蓄(300名3日分)、避難所設置応急対策備品(2避難施設分)の整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R2年度)	
		町内避難者及び観光客等の非常食料等備蓄率94%	目標	()	(65%配置)	(80%配置)	(備蓄率 94%)
		実績		65%配置完了	80%配置完了	備蓄率 94%	
	【R2成果目標】 整備した資材を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(1回以上/年)
進捗状況説明	防災施設の機能強化や非常食料の備蓄・生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の充実が図られ、平成30年度で町内全避難所20施設の90%配置を完了しており、備蓄率としては、94%となっている。平成31年度において残り2避難所施設に備蓄品を配置する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>嘉手納町内の防災・減災の強化に向けて、今回整備した避難所設置応急対策備品などを災害時にスムーズに活用できるよう、津波防災の日の避難訓練に合わせて、各自治会が備品等の使用方法の説明会や啓発活動を行った。また、台風第24号等の影響により避難所が開設された際、実際に備蓄備品等が活用された。</p>	<p>台風第24号等の避難所開設の際、停電によりLEDランタン等を使用し、避難者が問題なく使用していることを確認した。また、大雨の中で発電機を稼働させるとガスが発生したため、ソーラー式の発電機の設置など、いくつか課題を確認することができた。</p>
今後の取り組み方針		
<p>引き続き、残り2避難所施設に備蓄品等を整備し、令和元年度で備蓄率100%の達成を目指す。併せて、簡易トイレの使用方法など、応急対策備品を災害時にスムーズに活用できるよう継続して説明会等を開催するとともに、備えておくべき備品等について適宜見直しを行い、今後の導入について検討していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	12,771	12,771	10,216	2,555	0
<pre> graph LR A[嘉手納町 12,771千円] --> B[消耗品費 6,799千円] A --> C[備品購入費 5,972千円] B --> D["(有)大城書店 2,587千円"] B --> E["(有)大城書店 4,212千円"] C --> F["(有)昭和事務機社 4,244千円"] C --> G["(有)昭和事務機社 1,728千円"] D --- H[備蓄食料等購入] E --- I[備蓄消耗品等購入] F --- J[備蓄備品購入] G --- K[備蓄倉庫購入] </pre>					

資金の 流れ 検証 ・ 評価 ・ 費用	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争方式により選択しており、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、複数社から見積をもらい決定しており適正であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については、事業目的の観点から必要か等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-②	嘉手納町防災情報発信強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制強化 Ⅲ-10-(2)
事業内容	災害時において町民及び観光客等の安全の確保を図るため、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムをデジタル化に構築するための実施設計を策定する。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	7,462	14,141		
	(b) 予算現額	7,462	13,500			
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 641			
	(d) 繰越額	—	—			
	A. 計(b+d)	7,462	13,500			
	B. 執行済額	7,128	13,500			
	うち交付金充当額	5,702	10,800			
	次年度繰越額	—	—			
	執行率(%) (B/A)	95.5%	100.0%			
予算の状況の説明	嘉手納町の防災・減災に向けて防災無線システムのデジタル化を構築する為の実施設計を策定した。予算減額は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	嘉手納町防災システム基本計画(H29年度策定)を基に防災システムの実施設計を策定する。	目標	(実施設計策定)	()	()	()
		実績	実施設計策定完了			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	防災無線システムをデジタル化に構築する為の実施設計を策定した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
		目標	()	(実施設計作成)	()	()
	実績		実施設計作成完了			
	【R2成果目標】 防災無線を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()
進捗状況説明	本事業で策定された防災無線デジタル化及び導入防災システムの整備基準・整備計画等をもとに、実施設計を策定した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>嘉手納町内の防災・減災の強化に向けて、嘉手納町防災システムデジタル化実施設計を策定した。</p> <p>本設計では、2年に分けて実施工事を行う計画となっており、導入までの間はデジタル無線とアナログ無線を同時運用するため、同時運用による弊害が出ないように運用方法の検討をしっかりと行う必要がある。</p>	<p>デジタル無線とアナログ無線を同時運用する際に、親局をそれぞれ設置する必要があるため、設置スペースの問題が発生する可能性がある。また、設置できた場合も防災担当者の作業動線を阻害する恐れもあるため、慎重に検証を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>デジタルアナログ複合親局を検討するなど、デジタル無線及びアナログ無線同時運用時に支障がないよう施工を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	13,500	13,500	10,800	2,700	0
<pre> graph LR A[嘉手納町 13,500千円] --> B[委託料 13,500千円] B --> C["(株)環境設計国建 13,500千円"] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

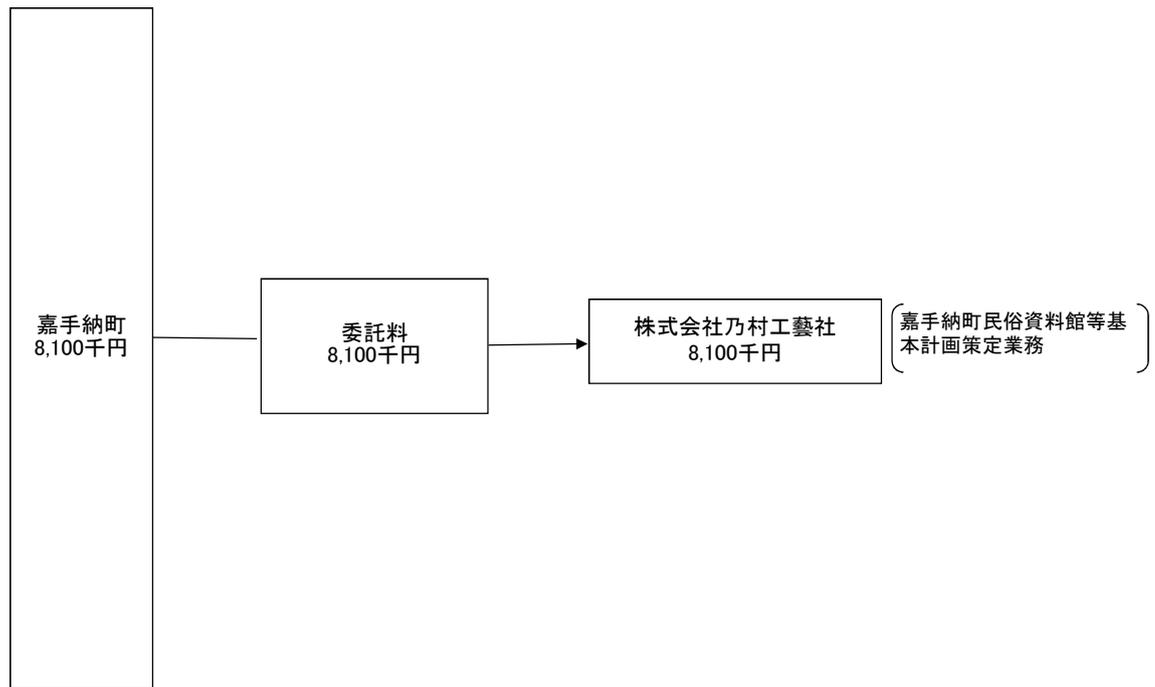
資金の流 点れ 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により選択しており、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、複数社から見積をもらい決定しており適正であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的の観点から必要か等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	嘉手納町民俗資料館等基本計画事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 中央公民館	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり III-3-(2)		
事業内容	本町の歴史文化の継承を図るため、嘉手納町民俗資料館等複合施設の建設に向け、基本計画を策定する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,051				
		(b) 予算現額	8,100				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 5,951				
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		8,100				
	B. 執行済額		8,100				
	うち交付金充当額		6,480				
	次年度繰越額		—				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		設計額の精査及びプロポーザルの残により、5,951千円を9月補正で減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	基本計画の策定 事業活動計画 展示計画 運営計画	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	事業活動、展示及び運営計画を含む嘉手納町民俗資料館等基本計画を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	嘉手納町民俗資料館等複合施設基本計画の策定完了	目標	()	(策定完了)	()	()	()
		実績		策定完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	ワークショップを2回、有識者懇談会を1回開催し、パブリックコメントを実施することにより基本計画策定を完了することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	基本計画において展示内容は示されたが、展示スペースの活用方法について、検討する必要がある。	展示スペースの活用方法について、本事業で関わっていただいた有識者に今後もアドバイスをしていただき、より良い資料館を建設したい。
今後の取り組み方針		
平成30年度に策定された嘉手納町民俗資料館等基本計画を基に、民俗資料館の建設事業を展開、推進する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,100	8,100	6,480	1,620	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、専門的な知識、ノウハウを提示してもらうためプロポーザルで委託事業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、不用額がなく、予定していた事業内容を実施しており、適正な規模であったと考える。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	嘉手納町民俗資料室収蔵品活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 中央公民館	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり III-3-(2)		
事業内容	本町の歴史文化の継承を図るため、嘉手納町民俗資料室収蔵資料をデジタル化し、台帳を作成する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,340				
		(b)予算現額	11,308				
		(c)増減額(b-a)	▲ 32				
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	11,308				
	B. 執行済額		11,308				
	うち交付金充当額		9,046				
	次年度繰越額		—				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		委託料の入札残の32千円を9月補正で減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成	目標	(作成)	()	()	()	
		実績	作成完了				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	文化財収蔵品3,674点、文化財書籍3,033点、町史編纂資料6,023点、合計12,730点をデジタル化し、台帳を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成完了	目標	()	(作成完了)	()	()	()
		実績		作成完了			
	【R1成果目標】データベース化した資料を活用した学習会等の参加人数 40人		目標	()	()	()	(40人)
	進捗状況説明	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後、台帳システムを活用した講座等の事業を実施する予定だが、資料室が老朽化のため閉室してしまっており、実施場所を確保する必要がある。	講座等場所については、中央公民館等の施設を利用し実施する。
今後の取り組み方針		
令和元年度は中央公民館と連携し、大人向け及び子ども向けの講座を2回実施する予定である。また、各学校等を対象とした出前講座も随時開催していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	11,308	11,308	9,046	2,262	0
<pre> graph LR A[嘉手納町 11,308千円] --> B[委託料 11,308千円] B --> C[株式会社Nansei 11,308千円] C --- D["(嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳システム導入)"] </pre>					

資金の流 れ 点 検 、 評 価 ・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の1%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

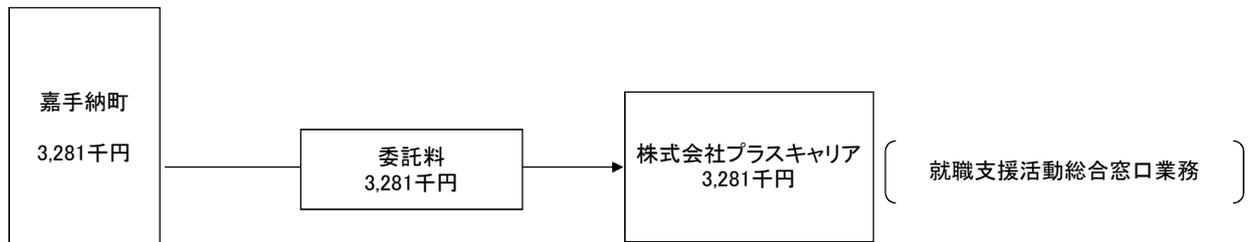
市町村名							
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	雇用促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部署名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 Ⅲ-2	
事業内容	就職相談窓口の開設及び就職支援セミナーを開催し、就労支援を行うことで、新規就労者の増加を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	3,864	3,864	3,609	3,464	3,306
	(b) 予算現額	3,864	3,557	3,539	3,307	3,306	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 307	▲ 70	▲ 157	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	3,864	3,557	3,539	3,307	3,306	
	B. 執行済額	3,838	3,557	3,539	3,306	3,281	
	うち交付金充当額	3,070	2,846	2,831	2,645	2,625	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	99.3%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	相談窓口開設(毎週火・金曜日) 95日	目標	(97回)	(100回)	(95回)	(95日)	
		実績	97回	98回	95回	95日	
	セミナーの開催日数 45回	目標	(51回)	(50回)	(45回)	(45回)	
実績		51回	49回	45回	45回		
達成状況説明	相談窓口、セミナーともに計画通り実施し、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	相談者及び受講者の内、就職が決まった人数(割合):	目標	()	()	()	(5.7%)	()
		実績				5.9%	
	【参考指標】 全体のうち嘉手納町の就職人数	目標	()	(2人)	(10人)	(-)	()
		実績		14人	8人	12人	
	【参考指標】 全体のうち嘉手納町の相談人数 相談人数…窓口相談人数及びセミナー受講者数	目標	()	(100人)	(220人)	(-)	()
実績			177人	140人	205人		
進捗状況説明	嘉手納町民の相談人数(窓口相談人数及びセミナー受講者数)は205人、そのうち就職した人数は12人、その割合は5.9%となり、目標の5.7%を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に役立つ内容のセミナーを毎週テーマを変えて開催し、利用者に様々なセミナーへ参加いただいたことで、利用者がスキルアップし、就職につながり、目標達成できたと考えられる。 ・若い世代の利用増加に向け、新たな広告宣伝活動として、県内の大学と連携し、チラシ配布を行った。利用者全員にアンケート調査を行ったところ、利用者の約40%がチラシから本事業の情報を得ていることがわかった。 ・複数の利用者から町内の求人情報の要望があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に様々なセミナーに参加していただくため、新しいセミナーの内容を検討する。 ・チラシが広告宣伝方法として有効であることがわかったが、どこに設置したチラシから情報を得ているのか把握できていない。 ・町内の求人情報を提供するため、情報を収集する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き就職に役立つセミナーを開催するとともに、利用者のニーズを調査し、ニーズにあった新たなセミナーについて検討していく。 ・前年度同様に様々な広告宣伝を行うとともに、利用者が入手したチラシの設置場所がわかるようなアンケートの設問に変更して広告宣伝方法を検証し、より効果的な広告宣伝が行えるようにする。 ・本町商工会と連携して、町内企業より求人情報を収集し、利用者へ情報提供を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,281	3,281	2,625	656	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、執行率95%以上であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

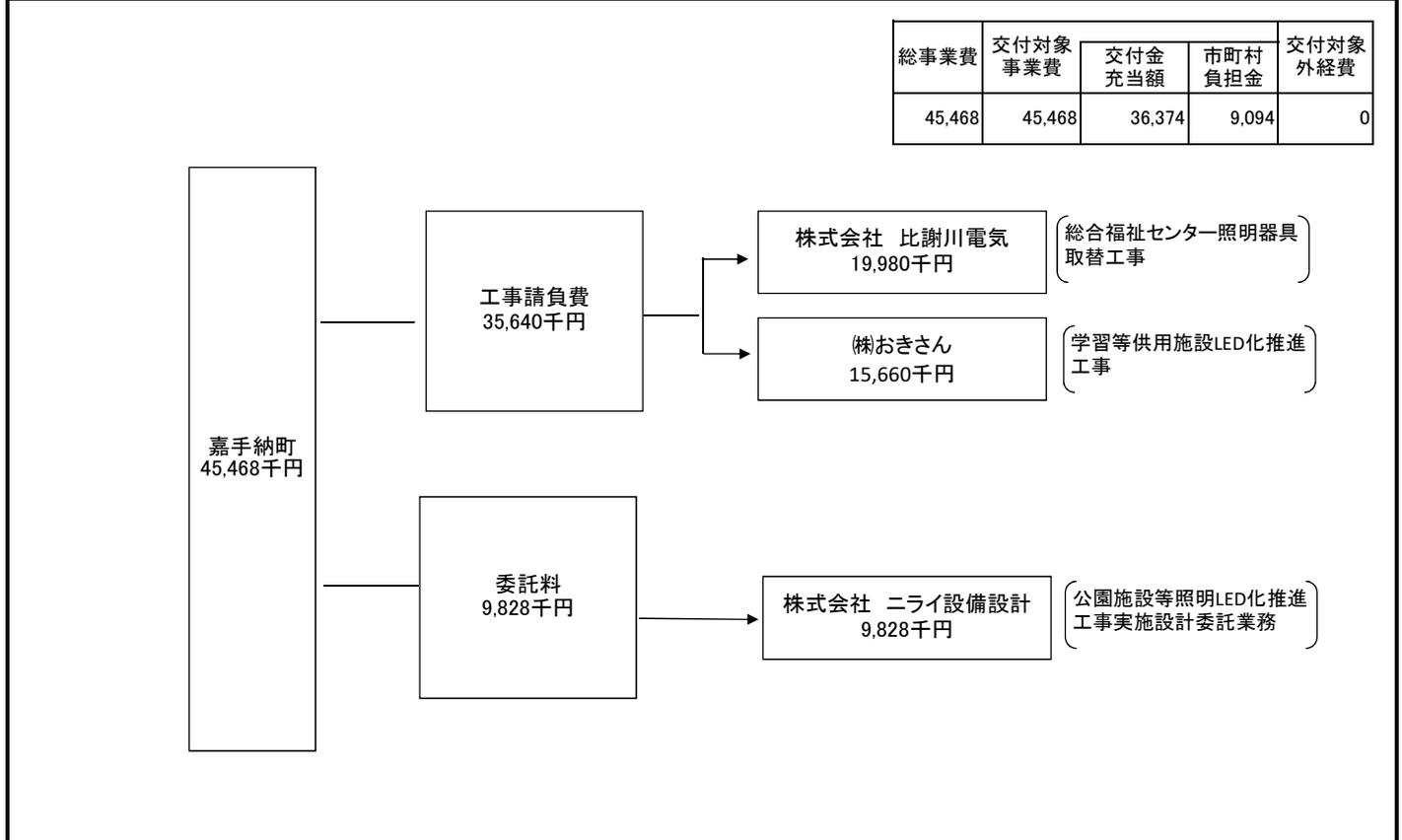
市町村名		嘉手納町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-① 嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-ア		
	担当部署名	総務課、都市建設課、福祉課		事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進
事業内容		CO2の排出量を削減するため、公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切替える。また、公園施設等の照明器具をLED化するための実施設計を行う。					III-10-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	46,156				
	(b) 予算現額	45,478					
	(c) 増減額(b-a)	▲ 678					
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	45,478					
	B. 執行済額	45,468					
	うち交付金充当額	36,374					
	次年度繰越額	—					
	執行率(%) (B/A)	99.98%					
予算の状況の説明		入札残により予算678千円を減額し、適切に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	【嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティセンターLED化事業】 ・照明設備のLED化により温室効果ガスの排出を抑制する。	目標	(照明設備のLED化)	()	()	()	
		実績	照明設備のLED化を実施				
	【公園施設等照明LED化推進事業】 ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計	目標	(実施設計)	()	()	()	
		実績	実施設計完了				
達成状況説明	嘉手納町総合福祉センター、嘉手納町地区コミュニティセンターのLED工事を実施した。公園施設等照明LED化推進工事実施設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	【嘉手納町総合福祉センター】 CO2排出削減量	目標	()	(33,747 (kg-CO2/年))	()	()	()
		実績		33,747 (kg-CO2/年)			
	【嘉手納町地区コミュニティセンターLED化事業】 CO2排出削減量	目標	()	(44,320 (kg-CO2/年))	()	()	()
		実績		44,320 (kg-CO2/年)			
	【公園施設等照明LED化推進事業】 公園施設等照明LED化推進工事実施設計の完了	目標	()	(実施設計の完了)	()	()	()
		実績		実施設計の完了			
	進捗状況説明	【嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティセンターLED化事業】 ・計画どおり照明設備をLED照明に切り替えることにより、CO2排出量の削減が図れた。 【公園施設等照明LED化推進事業】 ・公園施設等の照明器具をLED化する工事実施設計を完了した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>【嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティーセンターLED化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の切り替えによるCO2の削減は図られたが、継続的な節電対策が必要である。 ・第2次嘉手納町地球温暖化防止実行計画で策定した温室効果ガス(CO2)の排出削減に向けては更に削減努力をする必要がある。 	<p>【嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティーセンターLED化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的なCO2削減のために、使用者による節電への意識向上を図る必要がある。 ・実行計画で策定した温室効果ガス(CO2)の排出削減量の目標達成に向け、公共施設における更なる省エネ化が必要である。
	<p>【公園施設等照明LED化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計において、現時点での最適な製品の選定を行っている。 	<p>【公園施設等照明LED化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計において最適な製品の選定を行い実施設計を取りまとめたが、今後のLED化推進工事においては、時点より効率の良い、高効率化製品の有無等の検討し、さらなる使用量の削減を目指す。

今後の取り組み方針

<p>【嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティーセンターLED化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理者に対し節電の意識向上の啓発を図る ・嘉手納町全体の公共施設等の省エネ化を図り、温室効果ガス(CO2)の排出削減量の目標達成に向けて取り組む。
<p>【公園施設等照明LED化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計に基づき、計画的に公園施設等のLED化を実施する。 ・発注時にはおいては、より効率のよい、高効率化製品の有無等を検討し、さらなる使用量の削減を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事、委託事業者の選定について、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模について、工事費は公共建築工事積算基準を準拠して積算し、委託料は3社からの見積りにより設計しており妥当であったと考えている。</p> <p>○費目、用途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	